

■船橋市立リハビリテーション病院指定管理者内部評価 評価結果シート

施設名	船橋市立リハビリテーション病院
指定管理者	医療法人社団 輝生会
評価対象年度	令和3年4月1日～令和4年3月31日
所管課	健康・高齢部 健康政策課

総合評価	評価の理由
S	<p>事業計画に基づく評価表の評価項目中、S評価が19項目、A評価が13項目となり、事業計画以上の管理運営がなされているといえるためS評価とした。</p> <p>適切な人員配置による診療体制の確保、またリハビリに係るサービスの内容において、事業計画以上の優れた管理運営がなされている項目が多く見られた。</p>

※総合評価は「施設所管課による評価」だけを対象に評価する

※総合評価で評価項目が混在する場合の基準は下記「総合評価の基準」を適用します

総合評価の基準	
S	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合以上である
A	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合未満である 事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合以上である
B	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合より少ない 事業計画に基づく評価表の評価項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合以上である
C	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合より少ない
D	上記に関わらず、事業計画に基づく評価表の評価項目内に一つでもDがある場合

項目別評価状況	
S	事業計画以上の優れた管理運営がなされている
A	概ね事業計画どおりに管理運営がなされている
B	概ね事業計画どおりに管理運営がなされているが、一部軽易な改善事項あり
C	事業計画どおりの管理運営がなされておらず、早急な改善を要する
D	指定の取消しをせざるを得ないような不適切な管理運営がなされている

<項目別評価表>

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
患者及び家族に対して提供するサービスに関する事項			
1 診療体制等にかかる事項			
1-(1) 職員配置			
各病棟に配置された各職員は規則等に定められた基準を満たしている(事業計画書)	S	S	各病棟に、規則で定められた基準以上の医師・理学療法士・作業療法士・看護職員・看護補助者が配置されていた。また、ソーシャルワーカー・管理栄養士は計画通りの配置がされていた。 さらに、人員に関しては収入に対し73.1%を人件費として充てており、同等の病床数を有する病院より多くの人員数を確保するなど、診療体制の充実が図られていた。
訪問リハビリにあたって十分な数のスタッフを確保している(中期行動計画)	S	S	訪問リハビリに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が配置されていた。 さらに、訪問患者に対する満足度調査結果の「職員の対応についてご満足いただけましたか」という項目では満足80%、やや満足15%と高い評価が得られており十分なスタッフの配置を患者の満足度につなげることができていた。
1-(2) 危機管理体制			
院内における事故についてはヒヤリハットも含めて全例の事故報告を義務付けている。また委員会において分析し、対策を立てている(事業計画書)	S	A	医療安全委員会において、全例の事故が報告されていた。また、それらに対する対応案が検討されていた。
防災マニュアルに沿った形で、避難訓練を定期的に行っている(基本協定書)	S	S	防火管理者は消防計画を策定し、年に2回「火災想定」の避難訓練が実施されていた。また、通報訓練を不定期に行うなど、防災意識向上に努めていた。 さらに、避難訓練以外にも、職員の身体状況、家族、家屋の安否や、今後病院の運営が出来る

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
			かの確認が全職員の携帯端末で確認できる安否確認システムを導入し、通報訓練時に利用していた。
事故の発生について家族に説明すると同時に状況を開示している(事業計画書)	S	A	パンフレットを用いて事故発生状況を開示し、本人や家族に説明が行われていた。また、責任体制が明確な組織が築かれており、迅速に意思決定できる体制が作られていた。
1-(3) チーム医療の実現			
チームマネジャー制を採用し、チームの組織化に対して強化を図っている(事業計画書)	S	S	医療提供にあたり、チームマネジャー制を採用し、朝夕のミーティング、入院時合同カンファレンス、定期カンファレンス等の徹底的なチームによる医療サービスの提供が行われていた。 さらに、近隣に設立されたリハビリテーション科のある病院においても、患者に対するチームリハビリテーションが採用されるなど、地域の先駆的な役割を担っている。
1-(4) 職員の研修			
接遇面の研修体制を強化している(事業計画書)	S	S	新入職員への研修や外部講師による接遇の研修が行われていた。 さらに研修だけでなく、輝生会の接遇推進本部により、接遇ルールブックが作成され、職員に配布することで常日頃からの意識付けがなされていた。
各年度ごとに研修計画を策定し、職員に対する教育研修を実施している(事業計画書)(中期行動計画)	A	A	研修計画を策定し、可能な限り研修が実施されていた。
院内・院外における教育講演会、研究会を開催している(事業計画書)	A	A	法人内の研究発表大会は、WEBを活用し、5回開催することができていた。 法人外の研究大会等についても、WEBでの参加を中心に、積極的に参加していた。

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
2 サービスの内容について			
2-(1) 基本理念等の掲示			
基本理念、診療方針、患者の基本的な権利等を来院者が目にしやすい場所に掲示している(基本協定書 仕様書)	S	S	病院のエントランスにて基本理念等の掲示がされ、誰もが見られるようになっていた。 さらに、職員に病院の基本理念と患者の権利を掲げた輝生会ポケットマニュアルを作成し、常に携帯するよう指導されていた。
2-(2) 医療サービスの提供			
患者の自己決定権を尊重し可能な限り多くの単位のリハビリテーションサービスを提供している(事業計画書)(基本協定書仕様書)	S	S	入院患者に対して、診療報酬の上限である1日9単位のリハビリテーションサービスがほぼ毎日実施されていた。また、日曜・祝日等を問わず、可能な限り多くの単位を提供する、365日体制のリハビリテーションが行われていた。 さらに、入院患者満足度調査結果では「当院のリハビリテーションについてご満足いただけましたか」という項目で満足78%・やや満足17%、「治療方針などの説明についてご満足いただけましたか」という項目で70%・やや満足24%と高い評価となっていた。
自宅復帰後の日常生活をイメージした具体的ケアが行われている(事業計画書)(中期行動計画)	S	S	食事・歯磨き・着替えなどにおいて、可能な限り日常生活に近い形で患者が行えるよう十分な配慮がなされていた。 さらに、起床後は、リハビリが行える衣服に着替え、食器は陶器を使用し、食事は食堂で食べ、週に3日入浴が行われているなど、より日常生活をイメージした自立支援体制の充実が図られていた。
社会復帰支援のため、職能開発センター、障害者職業センターとの密接な連携を行っている(事業計画書)	S	S	社会復帰のための支援を、ソーシャルワーカーが外部の就業移行支援組織と連携を取って行い、患者の就業の援助が行われていた。
外来診療体制の充実をはかっている(事業計画書)	S	S	外来と通所リハビリを兼任し、各専門職が担当として配置されていた。 さらに、外来患者と通所利用者が同じ訓練室内で訓練を受けるなど、限られた空間が最大限に

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
			<p>活用されていたほか、訓練室が密にならないようにデイコーナー、食堂、浴室前、エレベーター周囲、階段など病棟全体を有効的に利用していた。</p> <p>また、退院患者に対しても外来リハビリや訪問リハビリが実施されていた。</p>
2-(3) 苦情処理			
苦情処理体制が設けられている。また、その対応結果を文書で掲示している(事業計画書)	S	S	<p>病院受付に、総合相談窓口が設置されていた。計画どおり、院内各所にご意見箱が設けられていた。また、対応結果を文書で掲示されていた。</p> <p>さらに、平成 29 年度より発足した「ご指摘検討プロジェクト」にて、苦情を『指摘』と受け止め、改善に継げる取り組みを引き続き行っていた。</p>
2-(4) 療養環境			
療養環境の向上に努めている(中期行動計画)	S	S	<p>院内外は清掃が行き届き、清潔感が保たれていた。敷地内を地域住民が散歩できる環境とし、敷地案内や禁煙等のお願いが掲示されていた。</p> <p>さらに、入院患者満足度調査結果では「療養環境についてご満足いただけましたか」という項目について、満足 76%・やや満足 18%と高い評価が得られており、入院患者の生活の場としての評価も高かった。</p>
3 他医療機関等との連携にかかわる事項			
3-(1) 急性期病院等との連携			
急性期病院に対して積極的に空床情報を提供している(中期行動計画)	S	S	<p>急性期病院へ FAX 等で情報提供するとともに、常に積極的に患者を受け入れ、急性期病院からの受入期間短縮を目的とした連携強化が図られていた。特に医療センター含む強化病院には、入院相談無しで入院できるルートが確保されていた。</p>
急性期病院からの受け入れ可能な患者に関する相談に積極的に対応している(中	S	A	<p>急性期病院に対して積極的に受け入れに動き、S判定患者については 2 週間以内に受け入れを行うよう努力するなどの対応が行われていた。</p>

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
期行動計画)			
市立医療センターと定期的に話し合う場を設けている(事業計画書)(中期行動計画)	S	S	リモートにて年4回連携会議を開催していた。 また、医療センター脳外科・整形外科の稼働率をタイムリー(週1回)に教えてもらえる協力体制を継続することにより、医療センターの稼働率を見ながら病床コントロールを行うことができるなど、相互協力体制を築いていた。
3-(2) 維持期施設等との連携			
各施設のデータベースを作成している(事業計画書)(中期行動計画)	A	A	市内だけでなく近隣市を含む各施設のデータベースが作成されていた。
施設等の関係者が集まる会議を年に数回開催し、継続的なリハ医療提供体制の整備に努めている(事業計画書)(中期行動計画)	A	A	施設向け見学会や、施設への訪問、地域住民に対しての市民公開講座を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止となった。
管理の効率化に関する事項			
4 病床稼働率にかかわる事項			
4-(1) 病床稼働の効率化			
毎朝、院長以下による病床稼働の会議を行い、新規の入院退院の調整を確認している(中期行動計画)	S	S	クラスターの発生等による入院停止等があった結果、病床稼働率80.0%と中期目標の95.0%を下回ってしまったが、毎朝院長他医師及び看護師、その他スタッフとの病床会議や入院判定会議を行うことで病床稼働率の向上が図られていた。

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
5 施設の維持管理等にかかる事項			
5-(1) 施設の維持管理			
患者及び職員が安全に安心できる施設の維持管理に努めている(事業計画書)	S	S	施設の点検が定期的実施されていた。 経年劣化が進む中、各設備の故障した箇所については指定管理者にて修繕や仮復旧を行いながら、市へ報告していた。 さらに、維持に留まらず、施設の美化に向けて、点検やメンテナンス、清掃について業者と定期的な会議を行うなど、想定以上の努力がされていた。
施設メンテナンス業者を定期的に見直し、メンテナンス効果とコストを評価している(事業計画書)	A	A	業者や業務内容を定期的に見直しているほか、コストダウンの取り組みを一覧にするなど、費用の削減へ向けた改善が図られていた。
6 情報管理にかかる事項			
6-(1) 個人情報保護にかかる事項			
個人情報の保護に関する基本方針を公表している(中期行動計画)	S	S	同方針を、エントランスに掲示する他、リーフレットを作成するなど周知を図っていた。
個人情報の保護を徹底するようスタッフに教育を行っている(中期行動計画)	S	A	院内において個人情報保護規定を随時見直すほか、新人研修や全体職員向け夕礼において、個人情報の保護に対して講義を行い、職員への啓発が図られていた。
6-(2) 文書保存にかかる事項			
文書等の保存方法に関する規定を定め、適切に文書を保存している(基本協定書)	S	S	文書管理規程を作成し、電子カルテ等も含め適切な管理を行っていた。 さらに、保存中だけでなく、保存期間が終了した書類については業者と契約して機密破棄文書とし

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
			て破棄するなど、破棄の方法についても気が配られていた。
財務内容の改善に関する事項			
7 財務内容にかかる事項			
7-(1) 適切な会計の設定等			
法人で行なっている自主事業の会計とりハビリ病院に係る特別会計を明確に区分している(基本協定書)	S	A	法人の所管する他の施設とは別に損益計算書が作成されていた。
7-(2) 経費の削減			
委託費は委託契約のごとに複数社から相見積をとっている(中期行動計画)	S	A	委託先の選定にあたっては、相見積を取るなどコストの適切な見直しが行われていた。さらに、法人全体でのコスト削減につながるよう選定し、文房具から、医療機器までグループメリットを出せるようにしていた。また、そのコスト削減の実績を定期的に管理していた。
その他管理に関する重要事項			
8 地域住民との交流にかかる事項			
8-(1) 患者、地域住民等から意見を聞く場の設置			
地域住民等から定期的に意見を聴く機会が設けられている(事業計画書)	A	A	例年であれば毎月患者茶話会(コンパスの会)のサポートを行っており、元患者の集まる場を提供し、情報提供、意見の聴取および、夏見福祉まつりなどに行き情報を取得していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止となった。
8-(2) 地域住民に開かれた施設管理の努力			
ロビーコンサートに地域住民が参加できる環境を提供している(中期行動計画)	A	A	例年であれば週1回のロビーコンサートを入り口近くの喫茶室で開き、地域住民が自由に参加できるようになっていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を自粛している。

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
9 その他			
9-(1) 患者、地域住民等から意見を聞く場の設置			
医療サービスが維持できる範囲において障害者の雇用促進を行う(事業計画書)	S	S	計画どおり、障害者の雇用も行われていた。 さらに、船橋市立特別支援学校と連携した雇用を行うなど、長期安定的な雇用に繋がるよう日々取り組んでいる。